

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
インテリアデザイン実習 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	日神山 晃一			実務経験	有	職種	インテリアデザイナー				
担当教員紹介											
店舗設計施工会社（株式会社船場・株式会社丹青社）デザイナーとしての経験を経て独立。飲食店・理美容・物販店等。200店舗以上の設計デザインを手がけている											
授業概要											
この科目は実際に課題制作を通して表現特性について学び、ショップデザインを組み立てる為の具体的なプロセス・手法を修得します。2 年次前期までにに修得したスキルを使い、具体的な建物・現場を基に、実践的な店舗デザインの組み立て手法・プロセスを習得する。テーマに沿ってコンセプトやイメージを立案、プラン・スケッチ・プレゼンボードまで作成し、制作の中で空間構成の把握と全体の組み立て方や表現手法まで、実践的なデザイン力を身につける。											
到達目標											
前期課題内容より難易度をあげた課題設定であり、実在する建築物の中に 2 形態の店舗デザインの提案を行う。 ・課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。 ・他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。 ・インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。 ・スケッチ・パース・模型等の制作ができ、他者に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。											
授業方法											
この授業では、課題条件がある中で空間デザイン提案を行うが、実務を想定したワークフローで進め、1 年次につけた知識・技術をさらに難易度を上げて取り組む。課題を通して、デザイン提案に必要な表現技法である各種図面、スケッチ、パース、模型の技術を習得する。											
成績評価方法											
課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する									
課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する									
プレゼン	10%	課題の発表技術、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
課題毎に資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	条件設定／テーマ・コンセプト立案 ： 現場調査・課題説明										
第2回	プランニング ： ターゲット設定、コンセプト作成、業態設定、エスキースプラン作成										
第3回	プランニング ： コンセプト確定、業態設定、エスキースプラン提出、エスキーススケッチ作成										
第4回	図面作成 ： エスキースプラン修正、業態確定、イメージ写真セレクト										
第5回	図面作成 ： 平面図、スケッチ作成										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
インテリアデザイン実習 2	
第6回	プレゼンテーション準備 : 平面図・スケッチ・イメージ写真等まとめ
第7回	中間プレゼンテーション : 中間発表を行い、全員の講評内容を参考にブラッシュアップさせる
第8回	図面・資料作成 : コンセプト修正・平面図作成・修正
第9回	図面・資料作成 : 平面図作成・修正
第10回	図面・資料作成 : 平面図、スケッチ作成・修正
第11回	模型作成 : 模型作成作業
第12回	模型作成 : 模型作成作業
第13回	模型作成 : 模型作成作業
第14回	プレゼンテーション準備 : ボードレイアウト仕上げ・模型仕上
第15回	最終プレゼンテーション : 最終発表により評価を行う